

春休みこそ しっかり学習をしよう！

3学期の通知表とともに、標準学力調査の1人ひとりの結果をお渡しします。1月末に国語・算数の2教科について実施しました。各学年の12月までに学習した内容から出題されています。本校では、毎年実施して学習指導に活用しています。学年末の今、この結果をもとに、各学年で復習に取り組んでいるところです。

ご家庭でも子どもたちが持ち帰りましたら、個人票を見ていただき、お子さんの強み、弱みを確認してください。そして、『学習へのアドバイス』が示されていますので、それを参考に、新学期に向けて、しっかりと復習をするように、声かけをよろしくお願いします。

春休みは、自主的な学習が中心となります。この2週間余りを、どのように過ごしたかで、新学年のスタートも大きく違ってきます。各学年の通信にも、「復習をしましょう。」と示されています。是非とも、教科書や漢字ドリル、計算ドリルなどを活用して、新学年への頭と心の準備をする春休みにしてください。

★個人票の見方(児童・保護者の方へ)

①⇒この学力調査の目的を説明しています。②の表に出てくる「基礎」と「活用」についても、ここで解説しています。

②⇒教科ごとに「総合」「基礎」「活用」におけるあなたの結果と目標値を表しています。「目標値」とは、到達してほしい目標ラインとなる正答率を、教科ごとや学習内容のまとまりごとに表したものです。棒グラフは、あなたの「教科総合」の正答率を表しています。◆で示された目標値と比べてみてください。

③⇒「問題の内容」ごとに、あなたの正答率と目標値を表で示しています。「評価」の欄は、目標値を基準として以下の3段階で表しています。

◎…目標値を上回っている

○…目標値と同程度

▲…目標値を下回っている

どの問題の内容が自分の弱点なのか確かめましょう。

④⇒今後の学習に役立ててもらうために、総合評価と学習のアドバイスを示しています。

★で始まる最初の記事

総合評価です。教科全体の出来ぐあいについて、あなたへのメッセージを述べています。

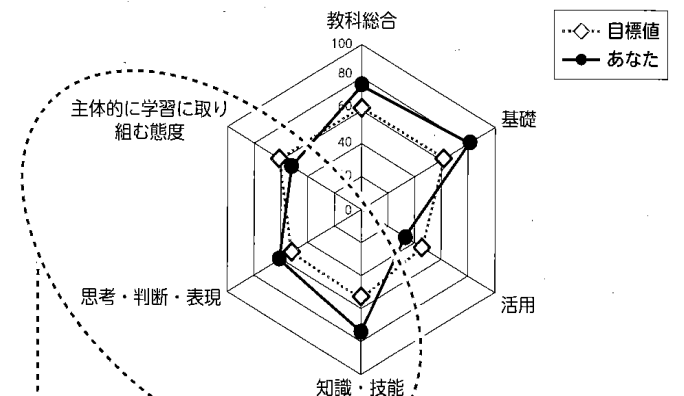
◆で始まる文章(原則3つ)

問題の内容ごとの学習のアドバイスです。重要事項を再度確認するとともに、課題のある問題については、復習のポイントをあげています。

⑤⇒基礎・活用や教科の観点別正答率を、レーダーチャートで視覚的に示しています。

「総合」「基礎」「活用」の正答率に加え、文部科学省が設定している3つの観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の正答率を、レーダーチャートで1つのグラフにまとめています。

あなたの値(●)と、目標値(◇)を見比べて、どの項目がよくできていたか、どの項目に課題があるのかを確かめて、今後の復習に役立ててください。



(例)「知識・技能」と「思考・判断・表現」は、●が◇の外側にあるため、よくできたことがわかります。「主体的に学習に取り組む態度」は●が◇の内側にあるため、目標に届かなかったことがわかります。また、よくできた「知識・技能」と「思考・判断・表現」との出来ぐあいを比べると、「知識・技能」のほうが、●が◇からより大きく外側に離れているため、よりよい結果だったことがわかります。

自ら考え、表現できる子どもの育成をめざして

今年度は、臨時休業など通常通りの学習形態とはいかないこともありましたが、新学習指導要領のもと、年間の教育課程のすべてを終えることができました。

また、教科としての外国語科(5・6年)・プログラミングなどの新しい学習とともに、言葉についての基礎的な習得や日常的に「読む・書く・話す・聞く」の言語活動に継続して取り組むことで表現する力の基礎を身につけ、授業の中で考えたことを「まとめ」、「ふり返り」を充実させることで「表現する力」を育成しようと授業改善に取り組んできました。

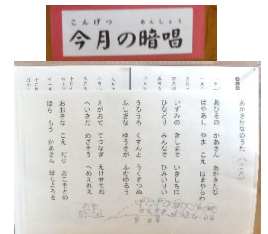
☆ICT機器を用いた学習 (プログラミング学習、)



今年度より、本格実施となったプログラミング学習。各学年年間計画に沿って学習を進めてきました。来年度、GIGAスクール構想による1人1タブレットが導入されます。

☆読む

国語科の学習の読み取りや音読に加えて、毎月の暗唱に取り組んできました。



各学年ごとに百人一首や詩など、季節に応じて教材を選んでいきます。

☆書くこと

100文字作文・3文日記など



自分の意見・説明・作文・ふり返りなど様々な場面で書くことを継続してきました。『継続は力なり』を実感した取組でした。

☆話し合い・交流

『友達とのやりとりから読み解き理解する力』



自分と友達の意見を比べたり、関連づけたりして整理し、再構築へ。



☆話すこと・聞くこと



継続した言語活動としての取組や、まとめの発表(全体共有)としての話す場の設定。

☆今年度は、コロナ感染症のため全校集会が開けなかったため、児童会主体の『多賀小エンジョイチャンネル』(テレビ放送)と題して、1人ずつ全員が自分の意見を全校に向けて発表しました。

☆卒業式練習(6年生)

呼びかけ、歌、座る姿勢、視線……。すべてに緊張感を持って真剣な練習です。

